**PMJ** フォスターファミリー奨学助成 **2023**本人申請書

 記入日：2022年　　　月　　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな  | 印  |  |
|  |
| 氏名（戸籍名）  |  | 写 真 （3.5cm×4.5cm）  |
| 生年月日 西暦　　　　　　　年　　　　　　　月　　　　　　　日（　　　　　　　才）  |
| 里親氏名（夫婦等で里親の場合は2名とも）  |
| ふりがな  |
| 現住所（〒　　　　　 －　　　　　 ）  |
| この奨学助成からの郵便物等への記載を希望し、この奨学助成関係のイベントで名乗りたい氏名 （姓について：戸籍上の姓・里親と同じ姓）  |
| 卒業予定高校　　　　　　　　　　　　立　　　　　　　　　　　　高校　　　　　　　　　　　　科　（昼・夜・通信制）  |
| 進学希望校名、学部名、学科名  | 合否発表日、受験方式  | 初年度納入金  | 希望する取得可能資格  |
| 第一 志望 | （大学・短大・専門学校）（　　　年制）（昼・夜）  | 月　　　日 （推薦・一般・AO・その他）  | 万円 （うち年間授業料 万円）  |   |
| 第二志望 |   （大学・短大・専門学校）（　　　年制）（昼・夜）  | 月　　　日 （推薦・一般・AO・その他）  |  　万円 （うち年間授業料 万円）  |   |
| 第三志望 | （大学・短大・専門学校）（　　　 年制）（昼・夜）  | 月　　　日 （推薦・一般・AO・その他）  |  　　　 　　　　　　　　　万円 （うち年間授業料 万円）  |   |
| 第四志望 | （大学・短大・専門学校）（　　　 年制）（昼・夜）  | 月 　　日 （推薦・一般・AO・その他）  |  　 　 万円 （うち年間授業料 万円）  |   |
| 第一志望校選択理由 | ※可能な限り具体的に記載してください。（立地、取得可能な資格、学習分野、学費、など） |
| 進学後の住居予定  | 里親宅 ・ 学校の寮 ・ アパート自活 ・ その他（ 　　　　　　　　 ） |

|  |
| --- |
| 高校時代に取り組んだ活動について |
| 1．高校時代に一定期間取り組んだ活動（部活動、アルバイトなど課外活動も含む）を記載してください（いくつでも可）。また、活動種別/取組期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動できなかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。 |
|  |
| ここから先は、以下のどちらかを書いてください。　A：1に書いた活動のうちどれか1つのこと　　B：高校での勉強のこと | 選択内容： |
| 2．1で実現したかったこと（目標など）とその理由は何ですか。 |
|  |
| 3．1に取り組む中で、特に大変だったことは何ですか。 |
|  |
| 4．1に取り組む中で、特に頑張ったこと、工夫したことは何ですか。自分一人で頑張ったことに限らず、周囲の人と協力して頑張ったことでも構いません。 |
|  |

|  |
| --- |
| 高校時代に取り組んだ活動について**（記入例）** |
| 1．高校時代に一定期間取り組んだ活動（部活動、アルバイトなど課外活動も含む）を記載してください（いくつでも可）。また、活動種別/取組期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動できなかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。 |
| **例）**①活動種別：アルバイト（コンビニ）　　取組期間と頻度：高校1年6月～高校2年3月、週1～2回　　役割や役職：レジ、品出し等②活動種別：部活（ダンス）　　取組期間と頻度：高校1年4月～高校3年7月、月2回＋自主練週1回程度　　役割や役職：ある振付のリーダー　※高1はコロナにより、ほぼ活動無し。高2より、緊急事態宣言中以外は上記頻度で活動。 |
| ここから先は、以下のどちらかを書いてください。　A：1に書いた活動のうちどれか1つのこと　　B：高校での勉強のこと | 選択内容：　A　アルバイト |
| 2．1で実現したかったこと（目標など）とその理由は何ですか。 |
| **例）**進学するためのお金を稼ぎたかったため、アルバイトを始めた。コンビニを選択した理由は、里親宅から徒歩で通える範囲で、高校生でも雇ってもらえたから。最初は、進学するためにお金がどのくらい必要なのかわからなかったため、特に目標貯金額は決めずに働ける分だけ働いた。その後、高校2年生の春から、1年で50万円＝月に約4万円貯めることを目標にした。理由は、志望大学の入学金と、大学受験に必要なお金を調べたら、大体50万円必要なことがわかったため。あとは勉強との両立を考えるとそれ以上働くのは現実的に難しかった。その後目標金額を無事達成し、受験勉強に専念したかったため、高2の3月でバイトを辞めた。 |
| 3．1に取り組む中で、特に大変だったことは何ですか。 |
| **例）**覚える業務が多くて大変だった。通常の商品のレジ打ちはすぐに慣れることが出来たが、チケットや郵便の対応など、たまにしか対応しない業務はなかなか覚えることが出来なかった。あとは、煙草を買う常連がいたが顔と銘柄を一致させることが出来なくて、煙草を取るのをもたついていたら、怒られることがあった。 |
| 4．1に取り組む中で、特に頑張ったこと、工夫したことは何ですか。自分一人で頑張ったことに限らず、周囲の人と協力して頑張ったことでも構いません。 |
| **例）**怒られた時は気持ちが挫けて辞めたくなったが、近くにコンビニよりも労働条件が合うバイト先がなかったため、進学のために続ける必要があった。そのため、常連客をよく覚えている先輩に相談した。先輩から、常連客の似顔絵と買うものをメモすると覚えられるとアドバイスをもらった。自分は絵を描くのは苦手であるため、似顔絵ではなく常連客の特徴をメモすることにした。毎回シフトに入る前の数分間、そのメモを見直してからシフトに入るようにしたら、だんだん覚えられるようになり、怒られることは減った。時間があるときは常連客だけではなく、たまにしかない業務のメモも読み直して、業務を覚えていった。 |

|  |
| --- |
| 高校時代に取り組んだ活動について**（記入例）** |
| 1．高校時代に一定期間取り組んだ活動（部活動、アルバイトなど課外活動も含む）を記載してください（いくつでも可）。また、活動種別/取組期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動できなかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。 |
| **例）**特になし。課外活動ではないが、学校に休まず通うこと。 |
| ここから先は、以下のどちらかを書いてください。　A：1に書いた活動のうちどれか1つのこと　　B：高校での勉強のこと | 選択内容：　A |
| 2．1で実現したかったこと（目標など）とその理由は何ですか。 |
| **例）**高校を卒業することを実現したかったです。理由は、専門学校に進学したく、そのためには高校を卒業する必要があったからです。 |
| 3．1に取り組む中で、特に大変だったことは何ですか。 |
| **例）**高校1年生の時は、新型コロナウイルスの影響で臨時休校やオンライン授業も多く、そもそも学校にあまり行きませんでした。2年生に進学してから、私は不登校になりました。いじめられた訳では無いですが、学校に行けなくなりました。行きたい気持ちはあったけど、行くことができなかったです。理由は上手くここには書けません。がんばって、午後からだったり、お昼前の時間だったり、と、朝からではないけど、時間をかけて少しずつ行けるようになりました。学校に行きたいという気持ちを持っていながらなかなか動けない自分と、里親や学校に迷惑をかけているという罪悪感を抱えながら、学校に行けるようになることは当時の私にとってとても大変でした。 |
| 4．1に取り組む中で、特に頑張ったこと、工夫したことは何ですか。自分一人で頑張ったことに限らず、周囲の人と協力して頑張ったことでも構いません。 |
| **例）**不登校になったとき、里親は何も言わずにただ見守ってくれました。心配をかけたくなかったため、私の調子が良い時に、ゆっくり時間をかけて、里親に学校に行きたい気持ちがあることと、高校を卒業したい意思を伝えました。里親は理解してくれて、学校の先生に、どのくらいの日数通えば留年せずに卒業できるのか確認してくれました。全部出席しなくても卒業できる可能性があることがわかると、私の気持ちは少し楽になりました。里親と協力しながら、まずは午後から通うことを頑張ろう、と小さく目標をたてることを工夫しました。 |

|  |
| --- |
| 高校時代に取り組んだ活動について**（記入例）** |
| 1．高校時代に一定期間取り組んだ活動（部活動、アルバイトなど課外活動も含む）を記載してください（いくつでも可）。また、活動種別/取組期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動できなかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。 |
| **例）**①活動種別：部活（陸上）　　取組期間と頻度：高校1年4月～高校1年3月、週5回　　役割や役職：特になし※高1はコロナにより、ほぼ活動無し。高2より、緊急事態宣言中以外は上記頻度で活動。 |
| ここから先は、以下のどちらかを書いてください。　A：1に書いた活動のうちどれか1つのこと　　B：高校での勉強のこと | 選択内容：　B |
| 2．1で実現したかったこと（目標など）とその理由は何ですか。 |
| **例①）**高校1年生の時に、テストの学年順位で50位以内に入ることを目標にして勉強していた。目標があった方が、テスト勉強を頑張ることができ、また達成できたときに嬉しいため、目標を立てていた。50位という数字は、最初のテストのときに60位台だったため、それ以上ということで50位にした。**例②）**将来のことを考えると、漠然と大学に進学したかったため、勉強をしていた。大学進学にはお金が必要にはなるが、高卒での就職より大卒で就職した方が、長い目で見るとお金を稼ぐことができると思ったため、進学したかった。具体的な大学は決めていなかったが、進学を目標に勉強した。 |
| 3．1に取り組む中で、特に大変だったことは何ですか。 |
| **例①）**親の都合で高校を転校することになったが、次に通った高校は進学校ではなく、簡単に10位以内に入れてしまった。そのためやる気がなくなった。勉強のやる気を出すことが大変だった。**例②）**親の都合で高校を転校することになったが、次に通った高校は進学校ではなく、勉強が非常に簡単になった。大学進学に向けて不安を感じ、やる気がなくなった。勉強のやる気を出すことが大変だった。 |
| 4．1に取り組む中で、特に頑張ったこと、工夫したことは何ですか。自分一人で頑張ったことに限らず、周囲の人と協力して頑張ったことでも構いません。 |
| **例①）**しばらくは転校したショックもあり、授業も簡単であったため、自宅学習するというやる気を失っていた。しかし、先生に進路のことを聞かれたことをきっかけに、進学先を決めたため、目標を学年順位ではなく進学先合格に変更した。今は、進学先の校舎の写真を机の前に貼り、そこに通うことを目指して勉強のやる気を出している。**例②）**しばらくは転校したショックもあり、授業も簡単であったため、自宅学習するというやる気を失っていた。しかし、先生に進路のことを聞かれたことをきっかけに、進学先を決めたため、目標を明確に進学先合格に決めた。今は、進学先の校舎の写真を机の前に貼り、そこに通うことを目指して勉強のやる気を出している。 |

|  |
| --- |
| 高校時代に取り組んだ活動について**（記入例）** |
| 1．高校時代に一定期間取り組んだ活動（部活動、アルバイトなど課外活動も含む）を記載してください（いくつでも可）。また、活動種別/取組期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動できなかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。 |
| **例）**①活動種別：ボランティア（地域の子ども会のイベント運営）　　取組期間と頻度：高1の8月～高2の8月まで、2～3か月に1回　　役割や役職：特になし②活動種別：生徒会　　取組期間と頻度：高2の6月～高3の7月まで、1か月に1回　　役割や役職：書記 |
| ここから先は、以下のどちらかを書いてください。　A：1に書いた活動のうちどれか1つのこと　　B：高校での勉強のこと | 選択内容：　A　ボランティア |
| 2．1で実現したかったこと（目標など）とその理由は何ですか。 |
| **例）**最初は何か目標があって参加したのではなく、仲が良い友だちに誘われてはじめました。しかし、1回目のイベントに参加したら楽しかったため、2回目以降は一生懸命取り組みました。イベントに参加する子どもは、小学1～3年生が対象です。人見知りの子はなかなか打ち解けてくれないため、3回目頃に、人見知りの子にも早く打ち解けてもらうことを目標にしました。打ち解けてもらった方が、自分もその子も楽しい経験が出来ると思うからです。 |
| 3．1に取り組む中で、特に大変だったことは何ですか。 |
| **例）**人見知りの子に打ち解けてもらうことが大変でした。一方的に話しかけても引かれるだけでした。長年やっているボランティアメンバーは、話しかけることが上手でしたが、私は上手くできませんでした。なので、話しかけるのではなく、行動で仲良くなりました。例えば、大繩飛びだったら、人見知りの子が飛べた時にはハイタッチをしにいきました。 |
| 4．1に取り組む中で、特に頑張ったこと、工夫したことは何ですか。自分一人で頑張ったことに限らず、周囲の人と協力して頑張ったことでも構いません。 |
| **例）**頑張ったことは、人見知りだったり人前で話すことが苦手な子どものために、イベントのはじめに、アイスブレイクの時間をつくることを提案したことです。最初にこのボランティア活動に誘ってくれた友だちとも相談して、アイスブレイクをやると良いのではないか、ということを思いつきました。他のボランティアメンバーに納得してもらえるように、アイスブレイクの案を5個考えて発表した結果、採用してもらえました。自分自身にとっても、考えて発表することは、良い経験になりました。 |